

福井ナシの旧盆前安定出荷促進技術

1 はじめに（背景）

福井県における露地のニホンナシ「幸水」の成熟期は、平年で8月22日頃になり、高値で取引される旧盆前（8月13日まで）の出荷は困難です。このため、熟期を促進させるジベレリンペーストを果実の軸に塗る（以下「GA処理」）ことが行われていますが、開花の遅い年や低温が続く年には安定して旧盆前に出荷することができません。その対策として、GA処理した後に赤袋をかける（以下「赤袋」）ことにより成熟期をさらに前進化させることができ、安定した旧盆前出荷が可能となりました。

1. GA処理と赤袋作業について

- GA処理は花の満開後30~40日後に1果当たり30mgを果梗に塗布します。（図1）



図1 GA処理は写真左側の矢印部（果梗）に行います。写真右側チューブのキャップをワニ口状のアタッチに換えることで簡単に塗布処理ができます。

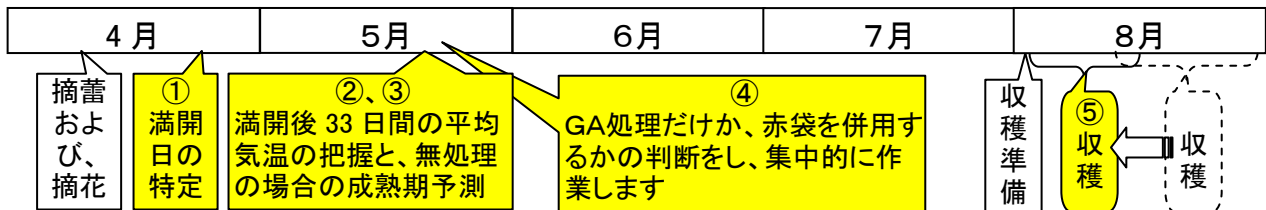
- 赤袋（75×83mm）はGA処理後、直ちにかけます。

2. GA処理と赤袋掛けを行う際の留意点

- 次の式（杉浦 [1997]）で収穫日を予測し、図2に基づき作業を進めます。

$$\text{満開日から成熟期までの日数} = -1.24 \times \text{満開後 33 日間の平均気温} + 147.2 \text{ 日}$$

図2 旧盆前の「幸水」収穫に向けた作業



3. 技術の効果およびコスト

- 「幸水」にGA処理することにより成熟期を6~10日程度促進することができます。また、GA処理後に赤袋（図3）をかける併用処理によりさらに7~8日、すなわち合計13~18日程度促進できます。



図3 赤袋（レッドX6）

- GA処理と赤袋の併用による資材および労働コストは1果当たり12.4円で（労働単価を1,000円/時間とした場合）、10アール当たり収量を3トン、成木20樹、1樹当たり430果を前提とすると、12.4円/果×430果×20樹÷10アール=107千円が10アール当たりの必要経費です。

3. GA処理と赤袋併用処理による粗収益増加額は、1,413千円-951千円=462千円/10アールとなり、コストを差し引くと462千円-107千円=355千円/10アールとなり、経営面でのメリットが十分見込めます。（旧盆前：階級3L 2.94個/kg、旧盆後：階級2L 3.23個/kgとした場合。単価は表1参照。）

表1 旧盆前後の「幸水」単価比較（円/kg）

年	旧盆前 (8/13)	旧盆直後 (8/16~17)
2009	424 (100)	301 (*71)
2010	542 (100)	412 (*76)
平均	483 (100)	357 (*74)

* 旧盆前を100としたときの割合
（農試、園芸研究G、坪田一良）